

皮膚線維化疾患の予防又は治療のための局所塗布剤

薬理学 高橋 富美、石兼 真、元薬理学 松永 洋明

利用分野

強皮症（例、全身性強皮症、限局性強皮症）、肥厚性瘢痕、ケロイド、老人性皮膚萎縮症、日光性弾力線維症、皮膚粗鬆症など、皮膚の線維化に起因する疾患を予防又は治療する医薬として提供される。

シーズ

ブレオマイシン注入強皮症モデルマウスの皮膚に、セレコキシブを直接塗布することにより、皮膚の線維化及び肥厚が抑制されることを見出した。セレコキシブを局所塗布すると、モデルマウスの皮下の脂肪組織の消失が抑制され、多くの α -SMA陽性細胞が出現した。セレコキシブが脂肪細胞→筋線維芽細胞の転換を抑制することにより、皮膚の線維化を抑えることが示唆された。



ニーズ

創の瘢痕化（肥厚性瘢痕）やケロイドは、筋線維芽細胞により引き起こされる。筋線維芽細胞を治療ターゲットとした様々な抗線維化薬が開発されているが、脂肪細胞から筋線維芽細胞への転換を標的とする医薬は未だ開発されていない。

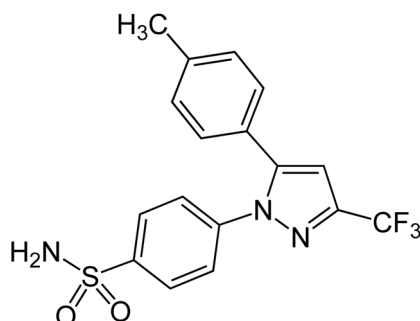
連携分野

皮膚線維化疾患を標的とした抗線維化薬の開発に興味がある企業との連携。



知財保護

特開2023-118685



すでにある医薬品の第2医薬用途発明



本学マスコットキャラクター
ラマディー



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ケ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbbox.pub.uoeh-u.ac.jp